

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は、2023 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項によって実施する。
- 2 受付について
 - (1) 受付を競技場正面出入口に設ける。時間帯によっては場所を移動する場合がありますので、その場合は本部に確認すること。
 - (2) 各校引率教員または所属団体や個人申込の代表者は、競技場入場時に受付をすること。(教員または所属団体の代表者の受付がないとき、選手は競技に出場できない。)
- 3 アスリートビブス (ナンバーカード)、腰ナンバーカードについて
 - (1) 本年度愛知陸協登録者は、登録アスリートビブスを使用する。
 - (2) 友の会に登録をしていない競技者は、受付でアスリートビブス (1 枚) を配付する。なお、競技後、安全ピンとともに回収係 (第 1 ゲート) へ必ず返却すること。
 - (3) アスリートビブスは胸と背にはっきり見えるようにつける。ただし、アスリートビブスを貸し出された競技者は、胸のみでよい。跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。
 - (4) トラック種目に出場する競技者は、招集時に写真判定用の腰ナンバーカードを受け取る。腰ナンバーカードを受け取っただけでは招集を完了したことにならないので注意する。ランニングパンツの右横に、明確に数字が読めるようにつけ、シャツなどで隠れないようにする。
- 4 ウォーミングアップについて
 - (1) 競技開始前のウォーミングアップは以下のように行う。ただし、大会の準備に支障のない範囲で行うこと。
 - ①レーン使用区分は原則として次のとおり。
トラック内のブルータータンはジョギング、ウォーキング
1・2レーンは中・長距離、3～7レーンは短距離、8・9レーンはハードル
 - ②トラックを横切る際は、走ってくる人がいないか十分確認をする。
 - ③8時45分前にはメインストレートでのウォーミングアップを終了する。
 - (2) 競技中のバックストレートでのウォーミングアップは、競技の支障のない範囲でもよい。長距離の競技中は6～8レーンのみ使用してもよい。スタート時は走らない。
 - (3) 競技時間帯は競技役員の指示に従って、競技運営に支障をきたさないよう注意する。
 - (4) 投てき種目の練習はできない(メディシンボールでの練習も不可)ので、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
- 5 招集について
 - (1) 招集所は第4ゲート (100mスタート付近) のゲートに設ける。
 - (2) 参加の招集は本人が行い、時間に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。
 - (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

| | | 招集開始時刻 | 招集完了時刻 |
|-----------------|---------|--------|--------|
| トラック競技 | | 30分前 | 20分前 |
| 跳 躍 競 技 | 走高跳・走幅跳 | 40分前 | 30分前 |
| | 棒高跳 | 70分前 | 60分前 |
| 投 て き 競 技 (砲丸投) | | 40分前 | 30分前 |

- (4) 出場する競技者は招集開始時刻から招集完了時刻の間に招集所の競技者係に、種目、組、レーンを伝え、チェックを受ける。その際、腰ナンバーカードが必要な競技者はあらかじめ配付を受けておく。腰ナンバーカードを受け取っただけでは、招集が完了していないので注意する。
- (5) 招集を受けたら、各種目のスタート付近やピットに速やかに移動し、競技開始前に最終コール(点呼)を受ける。

(6)他の種目を同時に兼ねて出場する競技者は、競技者係(招集所)に事前に申し出て、指示を受ける。

6 競技について

(1)シューズについて

①WA 規則第 143 条(TR5:シューズ)のルールを順守すること。また、令和 3 年 4 月 14 日付の日本陸連発出の文章「陸連 21 発第 5-2 号」に基づき、本大会は、フィールド競技用シューズの TR5.5 を適用せず実施する。記録は国内の公認記録として認められる。フィールド種目については WA への申告を行わず、国際大会への参加資格とはならない。

②スパイクピンは全天候用の物を使用し、トラック・フィールドともに 9mm以下を使用すること。ただし、走高跳は12mm以下の物を使用する。

(2)トラック競技について

①スタートは、全てのレースで合図を英語とし、不正スタートをした競技者は 1 回で失格とする。ただし、小学生のスタートは友の会ルールを採用し、同じ競技者が 2 回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。

②風力は 50m、100m、200m、走幅跳で計測をする。

③小学生は友の会ルールを採用し、スターティングブロックを使用しなくてもよい。ただし、小学 4 年生以上はクラウチングスタートにてスタートすること。

④短距離種目(ハードルを除く)についてはブロック合わせのみとし、スタート練習はしない。

⑤400mまでのレーン使用の競技では、フィニッシュ後も他の競技者の安全のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)を減速し止まる。

(3)フィールド競技について

①走幅跳と砲丸投について、各競技者は 3 回の試技ができる。その中で上位の有効な成績を得た競技者 8 人は、さらに 3 回の試技ができる。競技者が 8 人以下の場合には、全競技者が 6 回の試技ができる。

②中学走幅跳と中学砲丸投の 1 回目の試技が無効試技でない場合は、全て計測する。2 回目以降は次のように計測ラインを設け、計測ラインに満たない試技は無効試技とする。なお、計測ラインは天候等により、フィールド審判長の判断で変更する場合がある。

| | 中学男子 | 中学女子 |
|-----|---------|---------|
| 走幅跳 | 4 m 8 0 | 4 m 2 0 |
| 砲丸投 | 7 m 5 0 | 7 m 2 0 |

③バーの上げ方

- ・中学・一般・高校男子走高跳の最初の高さは 1 m 4 0 とし、以後は 5 c m ずつ上げていく。
- ・中学・一般・高校女子走高跳の最初の高さは 1 m 2 0 とし、以後は 5 c m ずつ上げていく。
- ・棒高跳の最初の高さは、跳躍審判員で協議し、フィールド審判長が決定する。
- ・走高跳の最初の高さは、天候により変更する場合がある。

④トラック競技とフィールド競技が重なった場合、競技審判に申し出てトラック競技を優先すること。原則としてトラック競技出場後にフィールド競技に戻った時点のラウンドの試技から続けることとする。

⑤走幅跳と砲丸投の試技数は、天候により変更する場合がある。

⑥砲丸投の砲丸は、競技場備え付けの物を使用する。

⑦競技終了後は、自分の助走マーカを必ず片づける。

(4)リレー競技について

①リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の 60 分前までに記録室へ提出する。用紙は招集所に用意する。ただし、小学混合 4 × 100mR のオーダー用紙提出は、8 : 0 0 までとする。

②リレーのマークは主催者側で用意したものを使用が原則だが、テープなど、各個人で持参したものを使用してよい。その際、必ず回収すること。

- 7 選手及び学校・団体関係者はスマートフォン、ビデオ等の情報通信機器類を招集所・競技場所に持ち込むことはできない。撮影については 13 項を参照のこと。
- 8 一般・高校／中学生／小学生(学年別)の部門別に各種目の優勝者には賞状とメダルを授与する。中学生／小学生(学年別)の各種目 2 位、3 位には賞状を授与する。個人申込の入賞者は本部で表彰する。
- 9 大会における傷害については主催者が応急手当は行うが、その後は各学校・団体で対処すること。また主催者は責任を負わないものとする。
- 10 競技場には記録は掲示しない。WEBで確認する。
- 11 貴重品類の管理は各自で行い、盗難等に注意すること。

○豊川陸上競技協会HP <https://toyokawaaa.com/>

○Web 速報 (スタートリスト・競技結果)

<https://toyokawaaa.com/sokuho/230416/nans21v/shtml/TimeTable.html>

